

H.29  
(2017年)

## 六月（今月の掲示板）

真宗大谷派・願成寺

『自分のこと』を、一番知らない私です

佛教とは『人がより良<sup>よ</sup>く生きる』ための教えです。お釈迦様は『人生は苦（思い通りにならない）である。欲望・我執（自己中心の強い思い）を捨てよ』と言われました。自分の思い通りにならない時、「三毒の煩惱（貪欲・怒り・愚痴）】により腹が立ちます。鏡が無いと顔も見えず、私のことを一番知らないのに、自己中心の考えで生きるから苦惱します。『佛教を学び・自分を知る』べきです。

人体には約60兆個の細胞があり、血管は全身に分布し・五臓六腑などが目に見えない所で、私の命を生かすために働いています。命を生かし続けている働きは、仏様なのです。『お天道（天の神・太陽）様・仏様が常に見ておられるから、悪い事をしないで』と昔の人は教えました。正信（念佛）偈に『大悲無倦常照我』阿弥陀仏の大慈悲（与樂・拔苦）は常に働いている』とあります。念佛の教えは、自分から求めて仏に遇うことで、念佛を申さんと思<sup>おも</sup>い立つ時、『必ず救うとの御慈悲』が頂けます。

主な参考資料

- (1) 織田顯祐(著)『暮らしの中に仏教を見つける』、法藏館、p.9~94(2017年)。
- (2) 藤見無極(著)『浄土真宗・やわらか法話1』、本願寺出版社、p.49~57(2015年)。
- (3) 宮本義宣(著)『浄土真宗・やわらか法話4』、本願寺出版社、p.28~35(2016年)。